

令和6年度の柳川市一般会計予算が3月の市議会定例会で可決、成立しました。令和6年度も「子育て支援」「教育環境の整備」に予算を重点的に配分。予算総額は歳入、歳出いずれも333億4300万円で、前年度当初予算に比べて8億5300万円、率にして2.6%の増加となりました。

【問】市財政課財政係（☎77・8432）

市税は、税制改正や前年度の収納見込みなどを勘案し、前年度に比べ430万円増の64億8221万円を計上しています。地方交付税は前年度に比べ3億9800万円増の89億5000万円を計上。また市債は、藤吉線や中島谷垣開線をはじめとした道路整備、西鉄柳川駅周辺や沖端地区の電線地中化、やまと小学校の学校再編事業などのため、前年度比1億3240万円増の27億9010万円を計上しています。

児童手当の対象拡大などで
扶助費3億7964万円増

扶助費、人件費、公債費を合わせた義務的経費は、前年度に比べ、8億5705万円増の174億3370万円を計上しています。そのうち扶助費は、子育て支援や障がい者支援などの経費が増加したことにより、前年度比3億7964万円増の87億766万円。人件費は、会計年度任用職員に勤め手当を支給するようになったことで、前年度比2億6266万円増の52億1985万円となっています。

一方、投資的経費の普通建設事業費は、西鉄柳川駅周辺や沖端地区の電線地中化を継続するものの、旧クリンセンターの解体や市民体育館照明LED化の完了、らくらくステーションの完成などにより、前年度比1億8668万円減の39億976万円。物件費は物価高騰などの影響で前年度比1億8884万円増の47億4973万円を計上しています。

令和6年度一般会計予算

333億4300万円を計上



令和6年度の柳川市一般会計予算が3月の市議会定例会で可決、成立しました。令和6年度も「子育て支援」「教育環境の整備」に予算を重点的に配分。予算総額は歳入、歳出いずれも333億4300万円で、前年度当初予算に比べて8億5300万円、率にして2.6%の増加となりました。

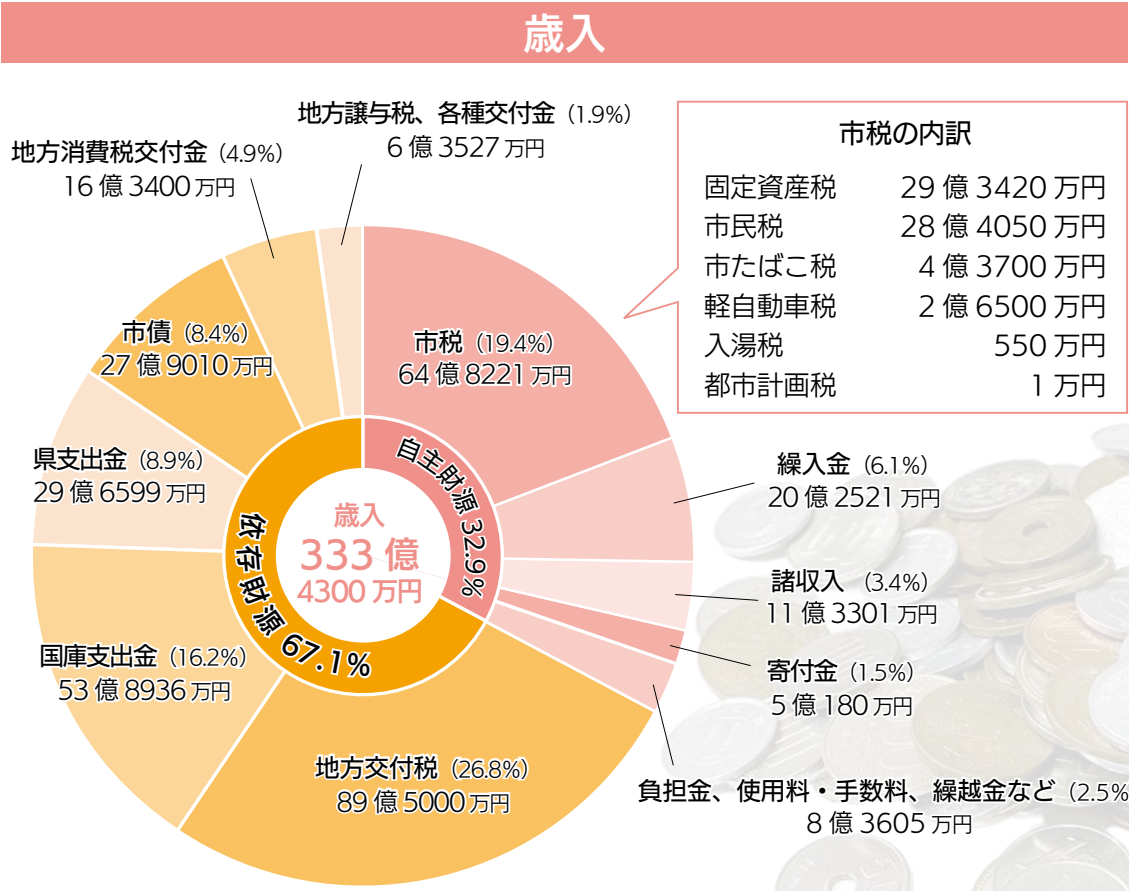
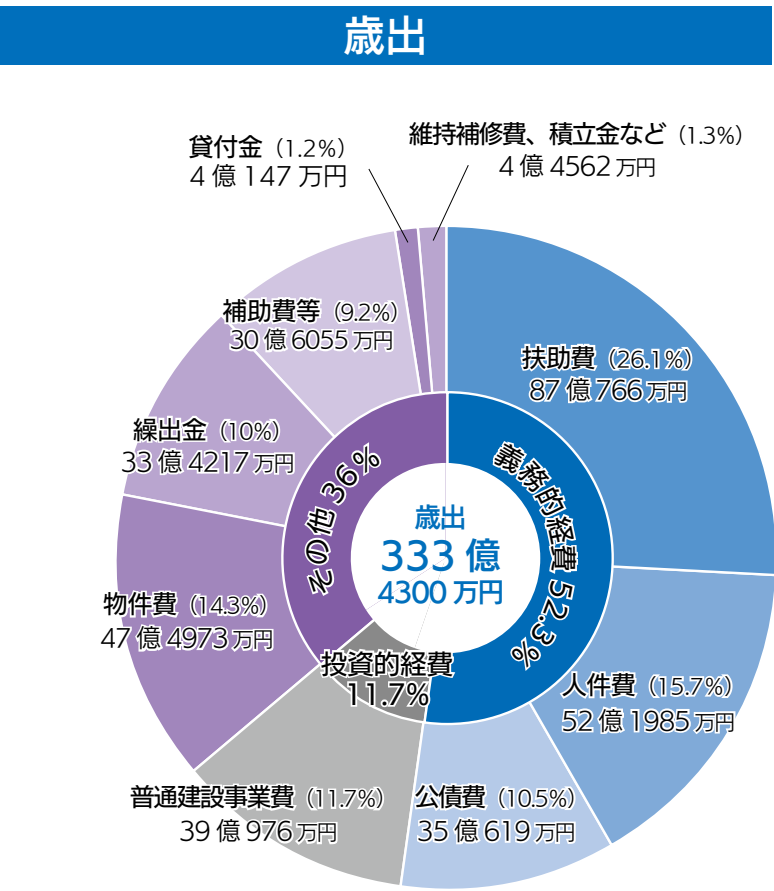
【問】市財政課財政係（☎77・8432）

予算を「家計」に例えたら

市の予算を10万分の1の「33万3000円」として、1カ月の家計簿に置き換えてみると、以下のようになります。

収入(カッコ内は予算科目)	金額
基本給（市税、使用料、手数料など）	8万1000円
諸手当（地方交付税など）	9万6000円
親からの仕送り（国県支出金など）	10万6000円
銀行からの借入（市債）	2万8000円
預金の取り崩し（繰入金）	2万円
先月の残金（繰越金）	2000円
合計	33万3000円

支出(カッコ内は予算科目)	金額
食費（人件費）	5万2000円
医療費、教育費（扶助費）	8万7000円
水道光熱費、物品購入費（物件費）	4万8000円
家や車、電気製品などの購入修繕費（維持補修費、普通建設事業費）	4万円
家族への仕送り、自治会費（繰出金、補助費）	6万4000円
借入金の返済（公債費）	3万5000円
雑費（その他）	7000円
合計	33万3000円



一般会計

一般会計は、特別会計で処理する分を除く基本的な経費を管理する会計です。歳入歳出予算額は次のとおりです。

グラフ内の用語説明

- 歳入
 - 繰入金 基金を取り崩して繰り入れるお金
 - 地方交付税 全ての自治体が一定水準の行政サービスを維持するために国から交付されるお金
 - 国庫支出金・県支出金 市の特定事業のために国や県から交付されるお金
 - 市債 施設設備などの財源とするために借り入れる市の借金。長期間使用する施設の費用負担を世代間で公平に分担する役割もある
 - 地方消費税交付金 消費税10%のうち、2.2%は地方消費税。その2分の1を人口、従業者数で按分して市町村に交付されるお金
- 歳出
 - 扶助費 高齢者や子ども、障がい者を支援するためのお金
 - 公債費 市の借金を返済するためのお金
 - 普通建設事業費 道路・水路や公共施設に必要なお金
 - 物件費 事務費や消耗品費など消費的性質を持つ経費
 - 繰出金 国民健康保険や介護保険、上下水道事業などの費用を一部負担するお金
 - 補助費等 一部事務組合の負担金や各種団体への補助金など

●NHK大河ドラマ招致事業
(350万円)
初代柳川藩主の立花宗茂と妻の闇千代を主人公としたNHK大河ドラマ「柳川」の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つふるさとづくり

●柳川観光2025指針推進事業
(3200万円)
柳川観光2025指針に基づき、多言語化や観光DXなどを推進し、観光客の満足度や観光消費額の向上を図るなど、市民、観光客、事業者の「三方よし」の持続可能な観光まちづくりに取り組みます。

●浸水被害を防ぐ排水ポンプ設置事業
(7000万円)
沖端地区と柳河・城内地区の浸水を防ぐため、沖端川に排水する常設型ポンプを、二丁樋と志貫間に設置します。

●白秋生誕140年記念事業費
(350万円)
北原白秋生誕140年となる来年1月25日から1年間、企画展や合唱イベントなどの記念事業を実施します。

●水田農業担い手機械導入支援事業費補助金
(6784万円)

●柳川の地域資源や産物を誇れるしごとづくり

●合併20周年記念事業費
(300万円)
合併20年となる来年3月21日から1年間展開する合併20周年記念事業の準備をします。



生誕140周年を祝うイベントを開催予定

●浦池小学校大規模改修
(1億6000万円)
安全で快適な学校生活が送れるよう、浦池小学校の外壁やトイレを改修します。



再編に向けて改修する中島小学校

●学校再編事業
(4億4743万円)
来年4月のやまと小学校開校に向けて、中島小学校の校舎を改修したり、スクールバスを購入したりします。また、令和8年4月開校予定の蒲池学校(仮称)や、令和9年4月開校予定の昭代学校(仮称)の再編協議も進めます。

若い世代の希望を叶え柳川の子育てや暮らしに幸せを感じるひとづくり

●IT企業へのオフィス開設費用等補助
(366万円)
IT企業が市内の空き物件をオフィスとして活用するときに、家賃や改修費の一部を補助します。

●やなばカードに電子マネー機能を追加
(800万円)
利用者の利便性を向上させ、地域循環型経済圏を確立するため、おもてなしカード会へ補助金を交付し、やなばカードの電子マネー機能追加を支援します。



田植え機の購入などを補助

●子ども医療費の助成を拡充
(2085万円)
10月から、未就学児、小中学生の入院費と未就学児の通学費を軽減します。

●物価高騰に対応するための学校給食費の保護者負担軽減
(4310万円)
物価高騰による給食費の値上がり分を市が負担し、家庭の負担を軽減します。



目指すは子育てしやすいまち

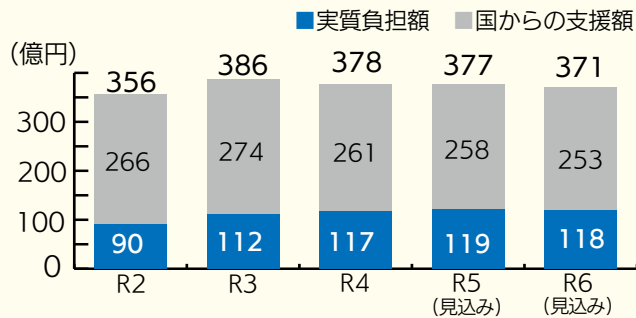
●やなわ子ども・子育て応援金事業
(5330万円)
市独自の子育て給付として、市内での子育てを応援するため、出産時に5万円、小中学校入学時に3万円の応援金を給付します。これとは別に国の制度による出産・子育て応援給付金10万円が給付されます。

■特別会計・企業会計

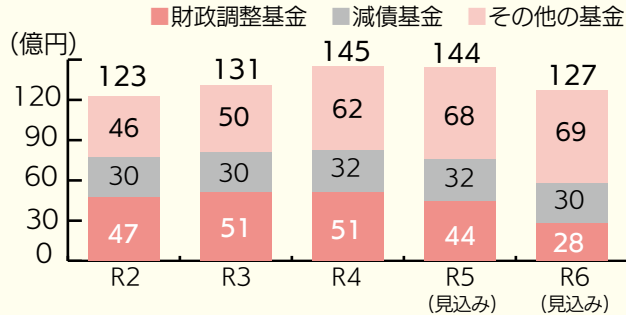
特別会計は、特定の事業のために、特定の歳入と歳出を一般会計とは区別する会計です。市には3つの特別会計と2つの企業会計があり、それぞれの会計の歳入歳出予算額(1万円未満四捨五入)は次のとおりです。

名称		予算額
国民健康保険特別会計		81億7802万円
後期高齢者医療特別会計		13億2700万円
公共用地先行取得等特別会計		5000円
水道事業会計【企業会計】	収益的収入	14億3649万円
	収益的支出	13億9307万円
	資本的収入	4億7558万円
	資本的支出	8億1491万円
下水道事業会計【企業会計】	収益的収入	7億5954万円
	収益的支出	7億3585万円
	資本的収入	6億505万円
	資本的支出	8億3863万円

■市債残高の推移(一般会計)



■基金の推移(一般会計)



4つの柱に沿って施策を紹介

今年度の主な事業

第2次柳川市総合計画で目指す将来像「水と人とまちが輝く柳川」を実現するため、4つの政策目標に沿って進める主な事業を紹介します。

●子ども医療費の助成を拡充
(2085万円)
10月から、未就学児、小中学生の入院費と未就学児の通学費を軽減します。

●子ども・子育て支援事業計画の策定
(975万円)
第3期子ども・子育て支援事業計画を策定し、市の子育て環境向上を図ります。

●遊具設置補助金
(150万円)
行政区が遊具を設置するとき、30万円まで補助します。

●子ども食堂等応援事業補助金
(60万円)
子ども食堂や地域食堂を運営する団体へ、運営費の一部を補助します。



整備が進む西鉄柳川駅周辺

●水郷柳河掘割地区整備事業
(6億4238万円)

水郷柳川の風情や快適さに共感し人を惹きつけるまちづくり

●教育委員会内に学校教育支援センターを新設
(1344万円)
生徒指導上の問題や課題解決に向けて、学校を支援するための相談機関を設置します。筑後地区では初めての取り組みです。

●遊び場づくり支援補助金
(10万円)
子どもの成長に必要な外遊びを支援するグループに、費用を年2万円まで補助します。

●立花いこいの森公園北側トイレ建替工事
(1921万円)
老朽化した公園内のトイレを、親子連れが快適に利用できるよう建て替えます

●子ども食堂等応援事業補助金
(60万円)
子ども食堂や地域食堂を運営する団体へ、運営費の一部を補助します。